

Home Coming Day



日時 11月3日(祝)
午後12時より2時まで
場所 名古屋学院大学 「思星館」(第2食堂)
参加費無料

名古屋学院大学同窓会

第10回 ホームカミングデーの御案内

恒例となりましたホームカミングデーを、今年も11月3日(金)に開催させて頂きます。今年度も大学祭期間中に開催いたしますので、同窓生との交流はもちろんさらに大きく発展した大学の様子を見学して頂けます。記憶に残る学内の風景を探してキャンパスを散策したり、新しい施設を覗いたり、きつと楽しい時間を過ごして頂けると思います。これまで参加されていなかった方も、今年はお家族と一緒にキャンパスを訪れてみませんか。もちろん無料です。同窓生が一堂に会する年に一度の機会、是非とも多くの方々にご参加頂きたく御案内申し上げます。

HOME COMING DAY

ホームカミングデーとは



本大学卒業生のOB・OGとその家族、そして教職員が、NGUファミリーという大きな輪を拡げることを目的に、年に一度キャンパスに集い、コミュニケーションを深めるイベントのことです。

主な行事

- 2日
● スポーツ大会
- 3日
● オープニング
● フリーマーケット(～5日)
● 瀬戸子供太鼓「こまいぬ産」公演
11月3日(祝) 00:00～
- 4日(土)
● コンサート 井手麻理子
11月4日(土) 00:00～
- 5日
● 世紀末「名学女王杯」
● トークライブ
ジバンガール(川村真由、梶真理子、中野奈美、坂井正子、伊藤絵里香)
11月5日(日) 00:00～
● 後夜祭 11月5日(日) 00:00～

今年も名学大祭の季節がやってきました。今年のテーマは20世紀の最後を飾るということもあり「プレナム・ミレニアム de プレミアム」としました。例年以上の多彩な企画でキャンパスを盛り上げようとの思いのもと、11月2日(木)のスポーツ大会を皮切りに、11月3日(祝)にはオープニングイベントを開催。瀬戸子供太鼓「こまいぬ産」太鼓演奏も予定されており、また、この日から5日までフリーマーケットが行われます。翌11月4日(土)には井手麻理子さんによるコンサート、最終日の11月5日(日)は世紀末「名学女王杯」とジバンガール(川村真由、梶真理子、中野奈美、坂井正子、伊藤絵里香)によるトークライブが繰り広げられる予定です。ラストの後夜祭まで充実した内容で、名学大祭は幅広い年齢層の方々に楽しんでもらおうと考えています。ミレニアム大学祭にどうかご期待を!! 皆様方のご来場を心よりお待ちしております。



名学大祭

プレナム
ミレニアム
de
プレミアム

の御案内

期間 11月3日(祝)～11月5日(日)

ご挨拶



同窓会会長
占部 憲一

爽やかな秋の季節となり、同窓生の皆様におかれましては、ますますお元気でご活躍のことと拝察いたします。

また、先日東海地方を襲った集中豪雨において被災されました同窓生の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今夏の会報にて皆様にご紹介いたしました「A.O入試」を学では昨年より体験入学などによる試験「A.O入試」を行っております。本年は卒業生のご息を始めて、大変多くの生徒に受験していただくことができ、誠に感謝申し上げます。

今年も、同窓生が年一回一堂に集い、旧交を温め合うホームカミングデーを11月3日に本学において開催させていただきます。楽しい会にいたしますので、ご家族や友人をお誘い合わせの上、是非ご参加賜りたいと存じます。

本年度も同窓会の活動にご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。



理事長
内山 道明

名古屋学院大学同窓生のみなさまが各界でますます活躍のこと心からお喜び申し上げます。また、日頃同窓会の運営に当たられておられます会長をはじめとして役員のみなさまのご努力に心から敬意を表します。

みなさまにおかれましては、すでにご承知のとおり、本学も36年の歴史を重ねて、今日では大学院2研究科、3学部5学科が開設され、学生数も5000名を超える中部圏における優良中堅大学として位置づけられるようになってまいりました。

さらに、来年度から通信制大学院を設け、生涯学習の社会的要請に応えようとしています。

なお、昨今の教育環境は私学にとつて、きびしさを増しており、経営努力ならびに教育充実政策を教職員あげてはかかっているところですが、同窓生のみなさまによる力強いご支援が不可欠のものとなってきております。

大学祭期間中のホームカミングデーには是非とも家族そろってご参加いただき、同窓生・在学生そして教職員が一同に会し、新たに名古屋学院大学ファミリーの連帯感高揚の場としていただきたいと思います。



学 長
木村 光伸

夏休み明けとともに学生たちがまたキャンパスに集い、爽やかな品野台の風の中に、学業や課外活動で活発な息吹が満ちあふれています。同窓生の皆様にとつて思い出深い校地も近代的な校舎群を加えて大きく変化しましたが、緑に囲まれたすばらしい自然環境は現在もなお名古屋学院大学の誇りであり、段と深みを増した学びの杜となりつつあります。同窓生の皆様におかれましては社会の厳しい状況を越えてご活躍のこととお喜び申し上げます。

本学では本年四月に経済学部政策学科を開設し、伝統ある文系総合大学にさらに幅を持たせて新たな出発をいたしました。二十一世紀に力強く羽ばたく大学となるように、教育体系も「新し、学ぶ喜びを学生諸君に自覚してもらうべく」「カリキュラム2000」を策定し、実施に移しました。さらに来年度から通信制大学院外国語研究科(英語学専攻)を開設する準備も着々と進み、常に新しい教育を目指してチャレンジする大学として、注目されているところであります。

大学を取り巻く社会状況は一段と厳しさを増し、中部地方においても入学定員を確保できない大学が増加する中で、本学はユニークな体験入学によるA.O入試を導入するなど、時代の要請を敏感に反映させつつ学生の質と教の確保に努めております。とはいえ今後本学の教育基盤をいっそう強固なものにするためには、同窓生の皆様の大いなる力をお借りしなければなりません。また在学生の就職活動においても、社会の先輩として広範に活動の場を展開しておられる同窓生の皆様は力強いご支援を仰がねばなりません。同窓生の皆様と同窓会の益々のご発展とともに、名古屋学院大学全校友の輪が一段と活発に持続することを願うものであります。

通信制大学院の 設置について

外国語学部長
外国語学部長

清水 克正

本学は、今年6月に通信制大学院外国語学研究科英語学専攻(修士課程・入学定員40名)の設置申請を文部省に行なった。通信制大学院は、平成10年3月の大学院設置基準の改正により可能となり、地理的・時間的制約を超えて、広く大学院教育を社会人に開放しようとするものである。従来、大学院での研究・教育は、通学制を中心にしていたものであったが、最近の情報・通信技術の進展を踏まえ、大学院の設置基準が改正されたものである。こうした分野で先進国である米国では、part-time university、distance learningが言われ、インターネットなどを用い、在宅学習を中心に高度専門教育が実施され、学位の取得も可能になっている。

本学は、開学以来、さまざまなレベルで地域との連携を深めており、特に、平成3年の「設置基準の大綱化」以降、学内での組織・制度の改革の中で「社会に開かれた大学」および「生涯教育」への取り組みを重視しており、社会の多様な要望に応えようとしている。今までに、それぞれの学内機関を通して各種講演会、セミナーなどを開催し、また大学院は昼夜開講制により社会人に専門教育を実施している。通信制大学院は、こうした社会と連携する教育・研究の延長線上にあるものであり、変革する社会の中で強い学習意欲を持つ社会人に大学院での研究・教育の機会を提供するものである。ただ、通信制大学院は、通学制と基本的に異なる。自宅での学習とスクーリング(面接授業)を中心とし、自学自習を原則としている。このため、多くの研究分野での教育が可能というのではなく、当然のことながら理工学系のように実験を中心とする分野では実施が難しい。つまり、通信制により十分その研究・教育の成果を上げることが可能であることが重要であり、現在、通信制大学院で開設されている研究科は、主に文学、社会学、教育学および情報学などであり、文献による研究と資料調査の研究などが中心となる分野が多い。英語学専攻は、文献研究と資料調査を中心にかかり教育効果を上げることが可能であり、音声・映像を伴うものはビデオ、CD-ROMなどを用いて指導し、さらにスクーリングを実施することにより十分対応できるものと考えている。

情報・通信技術の進展により、今後こうした教育形態は増加する傾向が考えられ、既存の教育方法にも大きな影響を及ぼすことが考えられる。現在、学部の一部の授業ではインターネットが補助的に使用され、今後、遠隔授業なども取り入れられれば、通信制と通学制の壁は低くなることが予想される。社会が急速に変革し、教育のポータルレス化が進展している今、本大学院の試みはこれからの教育を考える上で大きなインパクトを与えるものと考えられる。本学にとって、通信制大学院の実施は初めてであり、現在、開設のための準備を鋭意進めているが、関係各位のご協力を切に要望している。

キャンパスは美術館

彫刻設置計画をめぐって

愛知県立芸術大学教員

小池 郁男



名古屋学院大学構内への彫刻作品設置計画のため大学を訪れたのは1998年の夏。暑い日であった。上古野交差点を左に折れ、まもなく急な坂道となるがこれを二気に上りきると左手に鉄骨で構成された軽快な門構と、その奥に続く校舎木とがトンネル状に一体化して見える正門が目についた。起伏に富んだ大学のキャンパスは、その建物や植栽によって統一感ある快適な空間として構成されていることに大変驚いたものである。この素晴らしい空間にどのような作品を設置すべきか、至大彫刻専攻6名のスタッフは半年以上にわたり検討した。

まず、作品を設置する空間を3つのゾーンに分け(図面参照)、それぞれの環境と空間設備について検討した。

Aゾーンは東門から希望館に至る独立した空間で、しかも360度校界が良好、大学を象徴するモノUMENTを設置する空間としては最もふさわしい場所と認識し、このゾーンを基礎の空間と時々にとした。

Bゾーンは正面玄関から表校苑までの空間。大学全体を構成する上で最も重要な位置である。建物と植栽のバランスが良く、多様なイベントなども開かれ、研究から休息まで大学の活動はこの空間を介して行われている。したがって、人と人との交流の場と位置付け、友好の空間とした。

Cゾーンは幽玄池から六合館南斜面とテラスの北側に至る遊歩道を利用した空間。ここは緑と水に恵まれた静かな場所であるが、池付近を除き植栽が多いため、風などを利用した軽量の作品に適すると考えられる。ここでは、個人、グループなどのパフォーマンスができる空間を想定し、遊歩道の空間とした。

さて、昨年12月、希望館前に設置させていた作品「未来」に向けての主旨や制作経緯などを説明したい。この「遊歩道の空間」へはスタッフから扱ったもの「アイテラス」が出され、全員で検討を重ねた結果、最もこの空間に適合するとして、「未来」に向けて、最終候補となった。

この作品は「△」という万物の構成要素と考えられる単純な形も(遊歩道の空間)を意識しながら構成し、この学び舎から未来に向けて飛翔する若者の気迫に満ちた心情を大学の建物のフォルムに適合させながらシンボリックに造形化してみた。

三個の脚で支えられた空中に浮かぶ中心の石は、外側を幾何学的な三角形で構成したメンブリスのフォルムによって不安定さが打ち消され、むしろ全体的に軽やかで、明るい感じが表現できたと思ふ。石は白黒の陰影石を使用し、白黒も含め落ち着いた色調のある色調に心がけた。心に残る作品となれば幸いである。

活躍する同窓生

マンガでプロデビュー



高寺 稔

「漫研」OBの高寺稔さんが、これまでの努力が実ってプロデビューを果たしました。高寺さんは経済学部入学後本格的に漫画を描き始め、漫画研究会の主幹も務めました。1999年に卒業後、その年の4月には「週刊少年チャンピオン」編集長奨励賞を受賞。同年8月プロデビューを果たし、すでに2作品を発表しています。漫画との出会いからプロデビューまでを語ってもらいました。

に生まれ、ここで初めてGペンやスクリーンペンといった漫画道具を教えてもらい、初めて「漫画という形」の作品を描きました(いままでは落書きですね)。それも作品として残る漫画は4年間で150ページにしかすぎません。1年生になり「現実」を肌と感じ就職活動もしましたが、時代なのか運命なのか、単に力不足なだけなのか就職先も決まりませんでした。この際、やりたいことはやってみようと思いい、卒業するまでの4か月で4作品、86ページの漫画を描き投稿しました。4月には「週刊少年チャンピオン」の賞をもらい、担当の方がつきました。賞の位置



[Fnカン・モチーフ]週刊少年チャンピオン21号表紙用カット

絵を描き始めたのは小学校1年生くらいだったと思います。きっかけは校内でのイラストコンクールでイラスト賞をとった喜びでした(賞状もないような賞でしたが)。中学校ではコマを割った漫画を鉛筆でノートに描いて、友達や兄に見せましたが、どんなに下手でも絶対にはげなぞ、褒めてもらったことが続けられたことにつながったと思います。このころ、「将来は漫画家になります」とクラスで発表した記憶があります。高校に進学すると体育会系部活で忙しく、漫画家になるという意識は薄くなり、進路など現実も迫っており迷いました。それでもクラスに漫画家や小説家志望の友達がいる、漫画は描きつづけていました。友達に恵まれた環境だったと思います。

結局なんとなく大学に入学して、漫画研究会に入会し、初めて漫画中心の生活になりました。漫研の先輩や友達

週刊少年チャンピオン1999年40号
[ドラック・ラデ]練習カット

づけは高くありませんでしたが、これがきっかけになり、これまで2つの読み切りを発表しています。漫画のテーマは10代、20代の人間の悩みや楽しさなどをエンターテインメント性を持たせて描くことです。漫画の世界では、私くらいの実力と立場の人はほとんどいません。でも、やりたいことを見つけ、それで生きていくと決めたからには、勝ち組になりたいと思います。いまはアルバイトをしながら描いていますが、漫画家意識を高くもち、努力していきたいと思っています。全国の人に読まれる漫画というものは、社会や個人に影響力をもつと思うので、作品に責任をもち、描いていきたいと思っております。今後、私の作品を読んで、何か感じていただければ幸いです。



本学の留学生別科には、毎年春と秋に協定校を中心として
様々な国からの留学生が入学してきます。
彼らの日本での学生生活をボランティアで支える
I-Clubのメンバーにお話をうかがいました。

留学生とのバーベキュー

「I-Club(アイ・クラブ)とはどのようなグループですか？」

「I-Club」は、生活や勉学の面で日本に不慣れた留学生が、少しでも早く日本の文化・社会に溶け込んでいるようサポート活動を行っている本学学生のボランティア・チャーターの団体です。

外国語学部・留学生別科開設と同時に設置された国際交流センターのもとに当時のセンタースタッフの呼びかけで誕生したのが始まりです。当時は「I-Club」という名称はなく、留学生チャーターのボランティア活動グループとして「International(メイトシップ)」という愛称を持っていました。

具体的な活動内容はどのようなものでしょうか？

年間活動は、4月の新入部員勧誘に始まり、春と秋には留学生の入学の時期に合わせて、オリエンテーションを兼ねた名古屋市内の案内ツアー・トリップを行っています。具体的には、名古屋市街、栄・大須周辺を1日使ったの故郷となっています。

この名古屋市内見学は、実際の生活に関連する銀行や生活用品が購入できる場所などを教えることのできる良い機会になっていると思います。

10月後半には、ハロウィンパーティーや大学祭、また留学生の帰国時期に合わせてフェアウェル(さよなら)パーティーというように、1年を通してイベントを行っています。

日常的には、授業の空き時間や授業後にセミナーハウスを訪ねて宿題や勉強の手伝い、また、日本語で喋りをすることも重要な役割のひとつになっています。休みの日に一緒に買い物に行く人もいますし、時には日本料理を作ったりもしています。

各国から様々な文化を持った留学生が集まっていますが、留学生が日本の生活様式に戸惑うことも多いと思うのですが？

どうして靴を脱いで上がるんだとか座敷で奥の方に目上の人が座るのはなぜかといった質問をされると困りますね。

もちろん、こちらから一方的に留学生に日本文化を強要するのではなく、彼らとの日常的な交流を通して、同じ大学で学ぶ友人として日本文化の良いところも悪いところもまともに吸収してもらえよう努力しています。

留学生と接する上で難しいと感じられるのはどのような点でしょうか？

やはり言葉のギャップが一番大きいですね。留学生は皆日本でたくさん友達を作りたいと思っているのですが、留学生同士ではどうしても母国語で話してしまいがちです。ですからセミナーハウスにもっと多くの日本

人を呼んで日本にホームステイに来たような環境を作っていくことができれば、留学生も言葉のギャップを取り払うことができるのではないかと考えています。

この活動を通して何か得られたものはありますか？

留学生との異文化間交流を通して日本人の私達が学ぶことは、私達が彼らに伝えられること以上に多く、この活動に参加することにより日本語も含めた白国の文化や社会についての知識不足を痛感させられると同時にそれらを学ぶことの大切さを教えられます。

日本の大学生について、留学生はどのように感じているようですか？

留学生は皆、それぞれ目的を持って日本へ勉強に来ています。日本の学生は「見栄」しそうに大学生活を送っているように見えますが、何のために大学に来ているのかが理解できないような学生や、大学で勉強に打ち込む姿があまり見られないの不思議に思うようです。他の国では、日本人は真面目で良く働くというイメージがあるせいか、そのような点にギャップを感じているのかもしれないですね。

今後の「I-Club」の活動方針を

「I-Club」は経済的にも精神的にもボランティア精神が求められるクラブだと思っています。また過去の活動やイベントについては国際交流センターの支援がありますが、サークルやクラブのように部費がないので、活動内容がある程度限られてきます。

留学生は一人でも多く日本人の友達が欲しいと思っているので、「I-Club」のメンバーと一緒にセミナーハウスを訪ねたり、留学生を励ます会その他のパーティーにより多くの学生が参加してもらうことができればうれしく思います。留学生の存在をより身近なものにしていくためには、まず私達「I-Club」の存在が学生にとって身近なものになるような努力もしていきたいかなと思います。



国際セミナーハウス

インタビューに

ご協力

いただいたのは…

I-Club代表 石黒 千亜紀さん(経済学部3年)
長谷川 理佐さん(外国語学部1年)でした。
また、取材ならびに記事作成にあたっては本学新聞会の全面的な協力をいただきました。

2001年度 AO入試結果報告

AO入試は、年々実施する大学が増加し、愛知県内だけでなく2001年度入試から新たに11の大学が行うことになりました。AO入試は、学力偏重の入試から脱皮し、人物本位で選考をしていくというのが本来の狙いですが、入試の内容は大学ごとに異なっています。

実施2年目を迎えた本学のAO入試は、前年度と同様に4日間の体験入学によるという、受験生にも大学にもA/Dな内容で行いました。全体的にも例のない新しい形の入試ということに注目を集め、マスコミにも大きく取り上げられた前年度とは違うだけに、申込者の減少が心配されました。しかし、全学部の合計で256名の申込みがあり、若干ではあります前年度を上回る事ができました。

学科ごとでは、商学部は商業系高等学校からの申込者が増えたこともあり、30%近い伸びとなりました。また経済学部でも、申込者数は前年度と同じでしたが、女子が大幅に増えているのが特徴となっています。そして中国語学科も、前年度の10名から16名へとアップしています。

体験入学は8月19日から4日間、1クラス15名程度という少人数による授業を、1日3コマ(1コマ70分)実施しました。そして、授業への積極的な取り組み、授業内容の理解度などから総合的に判断し、申込者の内容がよかったところから、前年度より多い153名を適切者となりました。また、9月15日に実施された高校生対象の英語スピーチコンテスト(本学外国語教育センター主催)で、優秀な成績を取った1名をAO入試の適切者に加え、合計154名が適切者となりました。この中には、10名近い同僚生のご子弟が含まれていたことを、合わせてご報告いたします。

この154名には、10月21日に実施する面接試験の受験資格を与え、本学を第一志望とする意思が固まれば出願することができます。面接試験では入学意思の確認と今後の学習計画を指導し、10月27日に合格者を発表します。

前述のとおり、AO入試は実施する大学が全国的に増えており、入試時期が限定されないことから、一部の大学、短大の試験内容に対して「青田買い」という批判がでています。今後、こうした批判はいつぞう強まってくると思えられ、文部省から何らかの規制がでる可能性もあります。本学は、AO入試とは安易な選抜方法ではなく、受験生と大学がお互いに相手を知り、納得した形で入学をしようというために、手間隙かけてきちんと選考する入試であるという姿勢を守り続けたいと考えます。

18歳人口の減少と大学の収容人員の増加から、選抜のための入試というものが形骸化してきているのは必ずです。大学を入試難易度ではなく内容で選ぶ時代を迎えるにあたって、本学のAO入試は、本来の入試のあり方を追及するものであると確信しています。

2001年度AO入試結果

(10月10日現在)

学 部	学 科	年 度	併願入学		面接試験		
			申込者	適切者	志願者	受験者	適切者
経 済	経済学 経済学 経済学	2001	95(17)	54(14)			
		2000	95(51)	51(8)	22(4)	22(4)	22(4)
商	商	2001	101(21)	57(16)			
		2000	78(21)	43(21)	33(17)	36(17)	38(17)
外国語	英語	2001	44(31)	31(25)			
	中国語	2001	16(12)	12(9)			
	英米語	2000	58(41)	33(27)	27(22)	27(22)	27(22)
	中国語	2000	10(6)	8(6)	8(6)	8(6)	8(6)
合 計		2001	256(81)	154(67)			
		2000	241(77)	134(61)	121(53)	121(53)	121(53)

*経済学部は学部単位で募集。面接試験出願時に学科を指定する。

*()内数字は女子数。

*英米語学科適切者には、2000年・2001年ともスピーチコンテスト優秀者1名を含む。

*面接試験の試験日は10月21日

各種証明書の発行について

卒業後に資格試験や就職試験等で、「卒業証明書」や「成績証明書」などの証明書を必要とされる場合の発行手続および発行料についてお知らせします。

発行の申し込みについては、以下ようになっております。

1. 教務課窓口へ直接きていただく場合

発行に15分程がかかります。ただし、英文証明の場合は即日発行できません。代理人による手続きについては、代理人の身分証明書(運転免許証等)のコピーを取らせていただきます。

*窓口受付時間:9:15~17:00(土日祝日を除く)

2. 郵送を希望される場合

郵便で申し込んでいただくことになります。電話等での申し込みは原則受付できませんので注意してください。

郵便が届き次第即日処理し、返送いたしますが、郵便のやり取りの日数分要しますので、お急ぎの場合は「速達」をご利用ください。また、英文証明の場合は、発行に1週間程かかります。

封筒に発行料金および返送料金分の切手を同封の上、メモ用紙に学費番号(わからない場合は卒業年度と学部をお書きください)、在学当時の氏名、生年月日、返送先住所、電話番号、発行を希望する証明書および部数を記入し、ご送付ください。

なお、返信用の封筒はこちらで用意いたしますので不要です。

3. 各種証明書の発行料金および返送料

- ①卒業証明書 一通200円(英文証明の場合300円)
 ②成績証明書 一通300円(英文証明の場合600円)
 ③基礎資格及び単位修得証明書(教職) 一通300円
 ④返送料 一律100円(速達による返送を希望される場合は別途270円必要)

科目等履修生制度とは、学部や大学院で開講されている科目を科目単位で登録して、一般学生と同じように受講する制度です。また、試験等に合格することで、受講科目の単位が付与されます。

ここ数年、生涯学習の気運の高まりから、資格取得のためや社会人として必要となった知識や技術の修得のために、科目等履修を希望する方が増えてきています。今年度の申し込み状況は、春学期12名、秋学期9名で教職科目や語学関連科目の履修者が多い状況です。また、秋学期の科目等履修について、初めて周辺地域に募集案内等の広報活動を行ったところ、多数の問い合わせをいただきました。これからも地域や社会に開かれた大学を目指し、このような制度を通して社会の期待に応えるよう、一層努力していく所存です。

今年度の受付は既に終了しましたが、次年度以降で科目等履修を希望される方がおられましたら、大学教務課までお問い合わせください。

1. 科目等履修に係る費用

- 初回登録料…………… 30,000円
 履修料 1単位につき…… 10,000円

2. お問い合わせ先

大学教務課 TEL 0561-42-0342

e-mail kyoumuka@ngu.ac.jp



2001年度 就職状況

早期化する就職戦線

IT関連産業の好況をよそに、経済環境は全般的に好転しているとはいえません。本学学生の就職先で、例年主流を占める販売・製造関連の景況も実感として芳ばしくありません。リクルート・リサーチ社の「2001年大卒求人倍率調査」によれば求人倍率は過去最低であった昨年の0.99倍から0.91ポイント上昇した1.0倍です。新卒の採用環境は昨年同様厳しいといえます。

そのような中で、他社に先んじて「より質の高い学生」を採用しようという思いから早期に採用活動を行う企業、あるいは景気をにらみながら採用活動を行う企業とに分かれています。特に、この1・2年はこのような傾向が強くなっています。採用活動に積極的な企業は早期から採用に向けて、採用試験前の選別ともいえる個別会社説明会を開催したり、エントリーシートを要求するなど独自の活動を行っています。それに合わせて学生側も就職活動をすることになり早期化(早

期化現象)への流れが形成されています。文部省アンケート結果では「就職活動開始時期が早まっている」と答えている大学は全大学の65%になっています。

早期化についての具体的な動きは、2月頃から合同企業展の開催にはじまり3月には各企業独自のセミナー・説明会が白押しとなります。この流れから採用試験へと進み、多くの企業において本格的な選考が始まります。内定の出始めは、およそ5月連休明けです。

人材採用は量より質の時代です。採用人員の縮小により質の絞り込みが徹底されて学生にとっては厳しい状況です。インターネットを使えるだけでなく、一般社会常識(特に経済常識)など学生として習得すべき事柄に努力するよう助言しています。

新卒者採用の抑制もまだ続くと予想されています。社会で活躍の同窓生の皆様には、何卒先輩へのアドバイス、ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

NGU EXPO2005 公開ワークショップ報告



経済学部教授

小林 甲一

1998年3月、20005年国際博覧会が地域に及ぼす効果を調査・研究するために、本学産業科学研究所に設けられた「EXPO 2005 プロジェクト研究」は、2000年5月には研究報告書第2号を発刊するなど、本年度も着実な活動を続けております。今回、こうした研究成果を広く社会に公表し、地域の人びとや本学の学生とともに「地球からの再考、EXPO 2005」をテーマとしたディスカッションをするために、昨年の11月から今年の1月にかけて3回連続の公開ワークショップを開催しました。ふたたびEXPO 2005と関連事業が、本学の立地する瀬戸市やその周辺地域にどのような効果を及ぼすかを考え直したいと思つたのです。

第1回目は、本学商学部助教授の三井哲氏(金嶺前)に、「万博が地域にもたらす社会・経済効果」と題して、イベントの開催が地域の経済や社会にどのような効果をもたらすのか、EXPO 2005がこの地域に及ぼす効果としてどのようなことが期待されるか、などについて講演していただきました。

第2回目は、(財)地域問題研究所 調査研究部長の村松久美秋氏をお招きして、「交流・共生・自立のまちづくり」をキーワードに、「博覧会よりもまちづくりを」瀬戸市総合計画の課題」という興味深いテーマで講演いただきました。瀬戸市企画課の政策担当の方を含めたディスカッションでは、中心市街地の活性化、市民参加の大切さ、地域のひとづくり、そして若者に魅力のあるまちづくりなどが話題になりました。

第3回日の講演は、「博覧会イメージと瀬戸のまちづくり」と題して本学経済学部教授の木村光伸氏にお願いしま

した。自然湖や地域の視点から、EXPO 2005の理念「新しい地球創造・自然の報知」を具体化できるのは、地域博覧会「イメージ以外にはないこと」そして、それを瀬戸がしっかりと受け止めて、まちづくりや市民参加をおこなうには何が重要か、などについてお話があった後、瀬戸のまちづくりの具体的なイメージや瀬戸から発信する市民参加型博覧会のあり方について議論しました。毎回、150〜200名の方々に参加いただき、新聞各紙でも取り上げていただきました。

私たちの研究グループは、これからもこうした活動や研究調査の成果公表、また政策提言などを通して、EXPO 2005をめぐる動きを見守っていくつもりです。地域や社会に開かれた大学、さらに、学生とともに地域や社会を創造できる大学へ。ぜひ、これからのNGUに注目していただきたいと思います。

名古屋学院大学

「教育振興資金」募金にご協力を

会日各位には、益々隆昌のこととお慶び申し上げます。

この度、名古屋学院大学から本同窓会に対して、「教育振興資金」の募金活動について協力依頼がございました。今回の募金の趣旨は同封されています。「募金趣意書」に述べられていますが、大学は厳しい財政状況下の中にあるけれども、教育環境の整備・充実に大学発展の条件であるとし、それらの事業資金の一助として「教育振興資金」の募金活動を行いたい。ついでには、理解と協力をお願いしたいとの内容でありました。

本同窓会理事会において、「募金協力の件」について協議した結果、母校発展の一助になると理解し、募金の趣旨に全面的に賛同することを了承いたしました。つきましては、会日各位におかれましては、厳しい経済環境にあるとは存じますが、募金の趣旨に深いご理解をいただき、出来る限りで結構ですので協力いただきたくお願い申し上げます。

会日各位

名古屋学院大学同窓会 会長 占部 忠

同窓会 ホームページ 本格的に スタート!!

同窓会独自のホームページ「ngudo.com」が、8月1日に開設されました。同窓会の活動や目的、活躍する同窓生の様子などの最新情報を約3万人の同窓生の皆さんに紹介していく予定です。また、皆さんのお役に立つサービスなども併せて提供してまいります。

同窓会のHPとNGUのHPは相互にリンクしてありますので、どちらからでも簡単にアクセスしていただけます。また、御意見を開設いたしましたので、お気軽にご意見を頂きますようお願い申し上げます。このHPの完成により、日本のみならずグローバルな同窓生、同士のコミュニケーションが簡単にありますので、新たな活動のフィールドが広がるものと大いに期待をしております。皆さんのアクセスを心よりお待ちしております。今回は、トップページを基にどのような内容が紹介されているのかを、案内させていただきます。

ホームページ閲覧のしかた

閲覧したい情報をクリック

理事・幹事紹介

理事・幹事を写真入りで紹介しています。各個人のメールアドレスも掲載してありますので、直接ご意見等のメール交換が可能です。

NGU最新情報

母校の様々な最新情報を掲載しています。

御意見板

同窓生の皆様方から寄せられる情報・ご意見等をメールにて受け付けています。



名古屋学院大学同窓会 (メール)

名古屋学院大学オフィシャルホームページへアクセスできます。

ホームカミング2000

今年、11月3日(祝)に開催される「ホームカミングデー」をご案内しています。

同窓会会報 第11号

発行された「同窓会報」をホームページ上で見ることができます。

インフォメーション

同窓会事務局のご案内 また「住所変更」などもメールで受け付けています。



同窓会終身会員について

同窓会では、学生、卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様と同窓会運営にご協力頂けるようになり、このつなかりを広げて行きたいと考えております。さて、平成8年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入して頂いた方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないというごこと、および、1997年3月以降の卒業生につきましては、卒業時に終身会費2万円を徴収し、それ以降の会費を請求しないこととなっております。

現在毎年2千円の年会費の請求をさせて頂いておりますが、皆様方も是非この機会に終身会員となつて頂くことをお勧め致します。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりとした財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。

●年会費 2,000円

支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。ホームページ上でも各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

関東支部

〒334-0006 埼玉県川口市大竹272-1
伊藤忠治(69年卒) TEL 048-266-7002
FAX 048-266-7002

三重支部

〒590-0410 三重県度会郡上城町妙法寺509-1
中野隆自(71年卒) TEL 090-0505-892-191

関西支部

〒544-0035 大阪府生野区生野東1-1-37
中川雄輔(68年卒) TEL 06-712-33674
(中川雄記測量事務所内)

中国・四国支部

〒712-8000 岡山県倉敷市水島朝神町2-4-8
藤原致(75年卒) TEL 086-444-55302
TEL(携帯)090-175-44504

アメリカ支部

3501 E.66TH AVE ANCHORAGE, ALASKA, USA
TEL 907-344-7007
(FAX 907-344-7007)

住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会会員の皆さまに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不定による郵便物の返送がかなりの数発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡頂きますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方もご存じの場合も、同様にご連絡頂きますようお願い致します。

連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階
TEL 052-242-6444
FAX 052-242-6445
※同封の住所変更届用紙を御用ください。

同窓会員の皆様へ注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。

編集スタッフ

担当副会長 山本茂一 (70年卒)
広報委員長 須崎英晴 (78年卒)
副委員長 塚本久 (70年卒)
事務局長 長瀬憲八郎 (71年卒)
事務局 豊田登志子